



前号の記事で、遂に完成！だったのに、今回の見出しが、完成から1年半後、ってどういうこと？と、読者諸兄がご自身のタイムリープを疑い、総合病院のタイムリープ科に駆け込む前にまずは説明を。単純に我が家のリノベーション作業の記事化はリアルタイムではなく、時差があったのでした。というわけで家は昨年春に既に完成しており、今夏は新生活を始めて約1年半経過しているという次第。

前回までの鈴木邸

屋根裏など一部セクションはまだ未完成ながら、遂に大規模リノベーションが完了。“レスト・モッド”、“レストア（修繕）”と“モディフィケーション（改良）”をコンセプトに、1985年築の昭和木造住宅が見事に再生。しかし家の完成とは、生活の始まりでもあったのだった……。

1F

GARAGE

小物を配置して雰囲気UP



BEFORE LAYOUT



ガレージの壁は合板そのままなので、気に入ったポスターや照明はビスを打ちまくって直接マウント。ポスターは次ページで紹介する家具職人さんにフレームを特注しています。

ドアを開けるスペースはギリ!



240Zの全幅は1630mmでこれは現行ヤリス(1695mm)よりも小さいのだが、ドアを開けられるスペースはご覧の通り。停めるときも限界まで右に寄せないとキビシー感じ。



AFTER LAYOUT

「いつかガレージを持ったら飾るんだ!」と、20年ぐらいいろんなモノを集めてきたが、いざガレージを持つとモノが多すぎて飾りきれない、という現実が直面前。とりあえずSTARWARSのライト等の大物を飾りつつ、細かい部分は今後じっくりと仕上げていく予定。収容能力を増やしたいので棚の増設も計画中だが、地震でモノが落ちるとこに直撃するのでそこは慎重に。

引っ越しにまつわるアレコレ **ガレージが保管場所として活躍**

新築&リノベあるあるで、引渡予定日を過ぎても家の各部が完成せず、引っ越し業者が運込んだ荷物の置き場所がない、というトラブルが発生。そんな時、既に完成していたガレージが家具の一時避難場所として活躍した。現在もガレージは各種余剰物の保管場所としてたびたび活用している。



敢行。あまりの片付かさに、時間がもう少し巻き戻らないかと自身身がタイムリープ科に行きたくなったが、火事場の1・21ジゴワットカを發揮してなんとか撮影日を迎えることができた。

完成後の我が家のディテールはページ各所を見て頂くとして、住んでみてまず実感したレスト・モッド住宅のメリットは、断熱性能の高さだ。我が家は今回のリノベに伴い、床壁天井全てに断熱材を入れたのだが、このおかげで冷暖房効率が格段に向上。同時に樹脂枠サッシにしたことで結露も皆無になった。昭和60年築の住宅でもこの高断熱、高気密を実現できたのは大きなメリットだ。我が家の場合、床下も土から全面コンクリ敷きへと変えており、地面から

最終回

大規模リノベ完了から約1年半こんな感じで暮らしています

カスタムカーの手法にならった“レスト・モッド”をコンセプトに据え、1985年築の昭和感溢れる実家をガレージ住宅に大規模リノベする企画が遂に完了。連載最終回は、完成後の暮らしぶりをお届けします。

PORN SUZUKI'S #07 HOUSE RENOVATION PROJECT Final!

Text/Takayoshi SUZUKI  
Photo/Ken TAKAYANAGI, Takayoshi SUZUKI



Profile ポルノ鈴木

いくつになっても引っ越しと片付けと春菊が苦手なフリーダム・ライター。このサイズの家を所有してもまだまだモノが溢れており、毎月のレンタル倉庫代も家計を圧迫しているが、「断捨離」という言葉を春菊よりも嫌っている。7回に及ぶ連載にお付き合い頂き感謝!





AFTER LAYOUT



BEFORE LAYOUT

## LIVING ROOM 2F

### 常に家族が見渡せる縦長のLDK

LDKは日当たりの良さを重視して2階の南向き配置に。この狙いがドズンパで、冬はかなり暖かく過ごせている。ベランダで物干しがしやすいように洗濯機もここに配置。キッチンには「突き当たりの景色」になることがわかっていたので、ビジュアル的に優れているホーロー製をチョイスした。

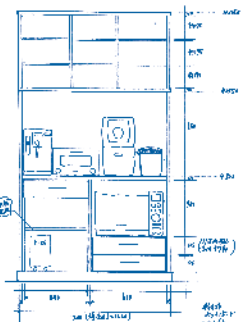


作ってもらいました



### キッチンボードをワンオフオーダー

キッチン家電の収まりが悩ましかったので、所有家電に合わせたサイズでキッチンボードを家具職人のWALRUS (ウォーラス) さんに特注。食器棚部分はサイドもガラス窓にしてもらい、引き出しも追加して小物も整理できるようにした便利設計!



WALRUS Instagram:@walrusfurnishing

### 絶対新居につけたかった沖縄ガラスのランプシェード

“新居に絶対つける!”と思っていたモノの一つが、沖縄のガラス作家ENTRO グラススタジオさんが作るランプシェード。食卓の真上にセットしたダクトレールは、このランプシェードを吊す為だけに事前に設置。新居を訪れた友人一同が、絶対に褒めてくれる自慢の逸品!



ENTRO glass studio Instagram:@entro\_glassstudio

## KIDS ROOM

### 広めの部屋を兄弟二人で使用

子供部屋は小6&小2の兄弟で共同使用。天井が高いので、まずは長男だけロフトベッドを導入。次男もハンゴの登り降りが危なくなさそうだったら、ロフトベッドをもう1台入れて空間を分ける予定。窓が1箇所でも空気のフローが良いので、エアコン稼働率高し。

BEFORE LAYOUT



AFTER LAYOUT



ガレージがある人生サイコ〜!



BEFORE LAYOUT

## HOBBY ROOM

### 夫婦寝室は成り行きでクローゼット兼趣味部屋に

1階で夫婦寝室となる予定だった部屋は、仕事部屋からの出入りや物音が邪魔だろうということでクローゼット兼コレクションルームへと変更。引っ越してからずっと物置同然だったが、今回の撮影を機に趣味部屋としての体裁を整えた。この部屋の床を見たのは久しぶりだ。



AFTER LAYOUT



コレやっと遊べた



今まではモノを買うばかりでキチンと並べてこなかったが、コレクションとは陳列してそこでようやく達成されるということを実感。「モノはちゃんと飾ろう」と心に決めたが、まだ倉庫にいっぱいあるんだよな。



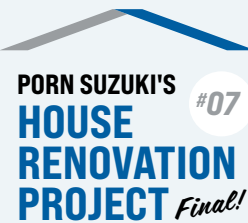
いし、今後も受け付ける予定はない(笑)。前回の原稿でも書いたが、家はただのハコであり、家が建ったのはあくまでスタート地点に過ぎない。そこから家を育てていく感覚で日々暮らしていくのが肝要であり、そういう意味では賃貸ではない持ち家は



### ところで、奥さんは家造りに参加したんですか?

旦那さんが好き勝手やった家に見られがちですけど(笑)、台所や水回りや私の意見が反映されています。浴室やトイレは掃除のしやすさでパナソニックに、キッチンは見た目の可愛さと機能性でタカラのホーロー製にしました。ホーローキッチンには色味もいいし、汚れにくいのでイイですよ〜。

育て甲斐がある。壁に自由に穴を空けられるし、部屋のサイズに合わせた家具を特注しても無駄にならない。オバケにや学校も試験も何もないが、持ち家には大家も敷金もない。自分の好きにつくった家で、これから好きに暮らしているのは、とても楽しいことだと思っ



の湿気もシャットアウト。こうした断熱&湿気対策は結果的に家を長持ちさせるので、予算を割くべき箇所なのだ実感した。さて今回の大ネタであるガレージだが、錆びに弱い旧車をようやく屋根付き保管できたことに一安心。ガレージ内は色々タイジることが前提だったので、内壁を合板剥き出しにしたのも気軽にドリルを打ち込めて正解だった。ただし、6畳間改で前後寸法だけ伸ばし、間口寸法はそのままだった内部空間は、240Zのドアが開くギリギリのサイズ。現行車やアメリカ



さらに部屋割りに関して言うと、結局1階仕事部屋の隣に設けた夫婦寝室は、音や出入りの問題もあって寝室として使い難いとなり、夫婦クローゼット兼コレクションルームとなった。結果的にガレージ、仕事部屋と合わせて、1階はほぼ筆者が占有するカタチとなったが、家族からのクレームは今のところ届いていな

BEFORE LAYOUT

## WORKSPACE

### 仕事部屋はモノだらけのカオス

ガレージと隣接する部屋に窓を設け、そこを仕事部屋とするという「俺の夢」も実現。奥のドアからガレージと行き来もできる。窓のサイズはずっと使っている米軍払い下げデスクの幅に合わせて設計してもらった。背後の本棚は父親の部屋にあったものを移設。前の家の大事な「痕跡」だ。



AFTER LAYOUT



### 引っ越しにまつわるアレコレ 引っ越しがとにかくタイヘン……!

以前住んでいた家は元米軍ハウスの借家で敷地が広く、調子に乗ってコストコ物置を建てちゃったりしてたので、そのバラシと廃業で一苦労。家の中もモノだらけなので、家族が移り住んだ後もしばらく単身通って片付けを続けた。もちろんその間、二重家賃状態だ。

本紙で企画記事もやった88チャリはデカくてクルマに入らず、引っ越し最終日に新居まで乗って帰った。